

委員会組織の再編について

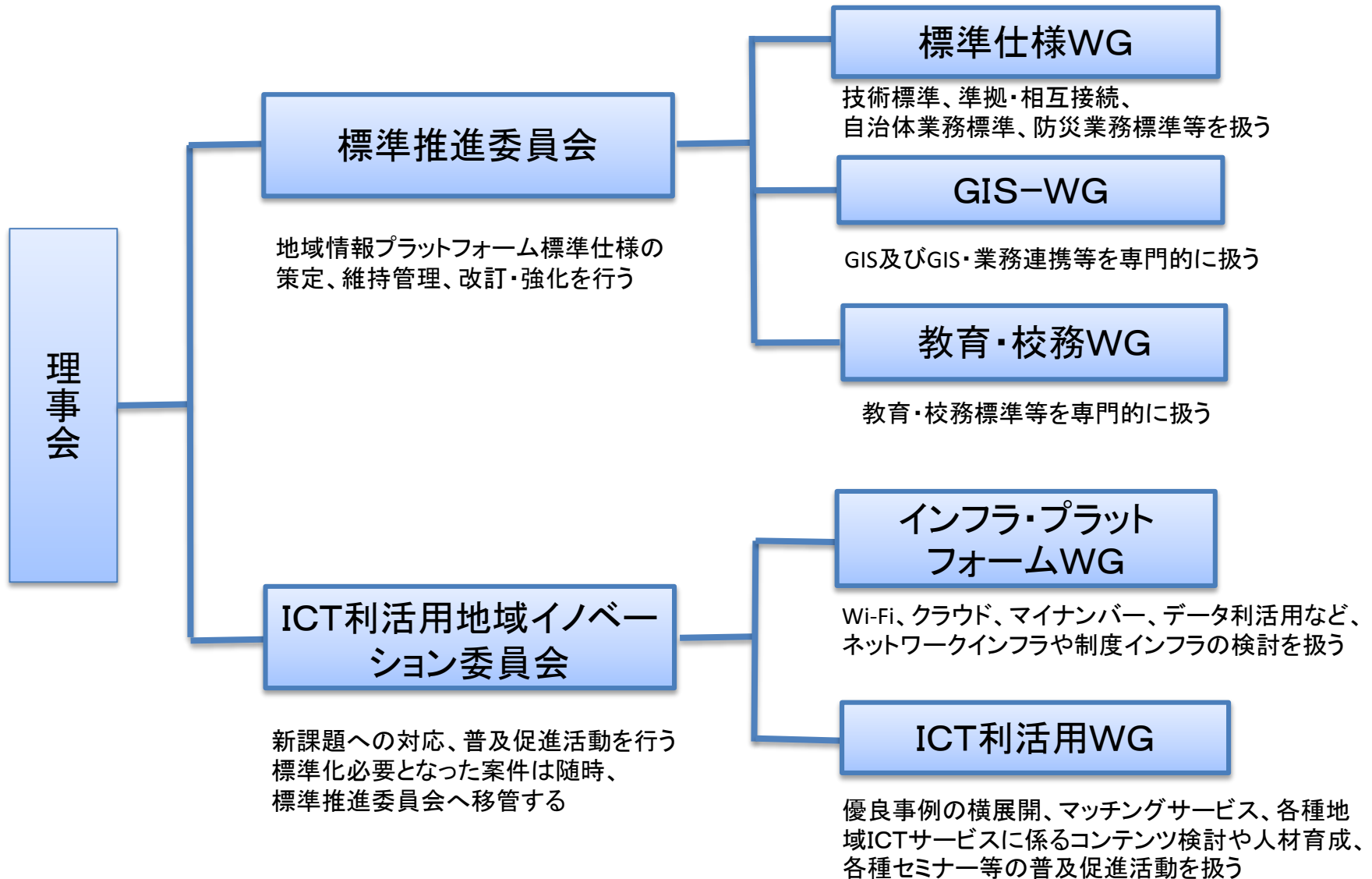


～自治体が取り組むべき新たな課題への迅速かつ的確な対応が必要！～

<経緯>

- 1 APPLICでは、発足から10年が経過し、地域情報プラットフォームは全国で80%を超える自治体が準拠製品を導入し、デファクトスタンダードとなるなど、その成果を着実に上げてきた。
- 2 その間、番号制度の導入、クラウド、ネットワークセキュリティの強靱化、等の新たな課題への対応や、IoT、AI等の新たな技術の活用等に関する検討が必要となってきた。
- 3 今般制定された「官民データ活用推進基本法」ではネットワークを通じて流通する官民の様々なデータを効果的に活用することを目標とし、自治体には「官民データ活用推進計画」の策定を求めているところである。これら、自治体に求められる新たな取組みにも対応する必要がある。
- 4 このため、今までの体制を発展的に集約し、これまで以上に、自治体のニーズに沿い、また、地域へのIoT実装を進める総務省等政府の政策を踏まえた体制に再編し、「地域の情報化」への取組を一層強化していく。

～新委員会体制は、2委員会、5WGに～



標準推進委員会の構成

委員会	WG名	TF名	概要
標準推進委員会	地域情報プラットフォーム標準仕様の策定、維持管理、改訂・強化等を実施		
	標準仕様WG	技術標準、準拠・相互接続、自治体業務標準、防災業務アプリケーション標準仕様等を担当	
		技術標準化TF	アーキテクチャ標準仕様、プラットフォーム通信標準仕様 等
		準拠確認及び相互接続性検討TF	地プラ準拠確認仕様、相互接続確認仕様、相互接続確認イベント 等
		自治体業務標準化TF	自治体業務標準の法改正対応 等
		防災情報共有標準化TF	防災情報共有ユニットの改定
	GIS-WG	GIS・業務システム連携TFをアプリケーション委員会から移管	
		G空間及びGIS活用検討TF	G空間情報の利活用の促進のための共通空間基盤DBの実現 等
		GIS-防災・業務システム連携TF	避難行動用支援者名簿ユニット及び被災者台帳管理ユニットの改定
	教育・校務WG	アプリケーション委員会から校務の情報化の標準仕様を保守・強化するため移管	
		校務標準化TF	教育情報アプリケーションユニットの改定 等
		教育ICT環境整備検討TF	端末～クラウドまでを範囲とした教育ICT環境整備について検討

ICT利活用地域イノベーション委員会の構成



委員会	WG名	TF名	概要
ICT利活用地域イノベーション委員会	ネットワークインフラ、観光、防災、農林水産業、地域ビジネス、医療・介護・健康など、地域情報化に係る新課題をタイムリーに検討。標準化が必要となった案件は、随時、標準推進委員会へ移管。普及促進活動を展開		
	インフラ・プラットフォームWG	Wi-Fi、クラウド、データ利活用等のネットワークインフラ、マイナンバー、マイナポータル等の制度インフラの検討等を担当課題に応じてフレキシブルにTFを設置	
		Wi-Fi等地域ICT環境整備TF	観光・防災等、Wi-Fiの利活用について引き続き検討
		クラウド・データ利活用検討TF	多様なクラウド環境下における情報連携、自治体データの利活用に係る技術仕様等、基幹系システムとパブリッククラウドとの情報連携に係る技術仕様について検討
	ICT利活用WG	<p>優良事例の横展開、事例集の作成、基本提案書の作成・保守、各種地域サービスなどのコンテンツ検討、マッチング、人材育成・セミナー等の計画の策定、承認等 普及促進活動等を実施 課題に応じてフレキシブルにTF等を設置</p> <p>普及促進検討TF</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優良事例の横展開、マッチングサービスの検討 ・季刊誌Future(事例集)の発刊 ・提案書の作成・保守 ・ICT利活用サミット、地域情報化広域セミナー、交流勉強会 ・APPLICフォーラム、講演会 ・自治体CIO育成研修、クラウド研修、ATA派遣 ・アプリケーション委員会で実施していた普及促進活動の1本化 <p style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; display: inline-block;">健康・福祉・医療分野の調査検討</p>